

1 評価の目的

- ①次年度契約可否を決定する
- ②改善事項の有無を見極め、改善事項があれば年度中に改善を求める

2 評価の時期

上記目的に照らし、当該年度の評価を上半期終了後に実施する。

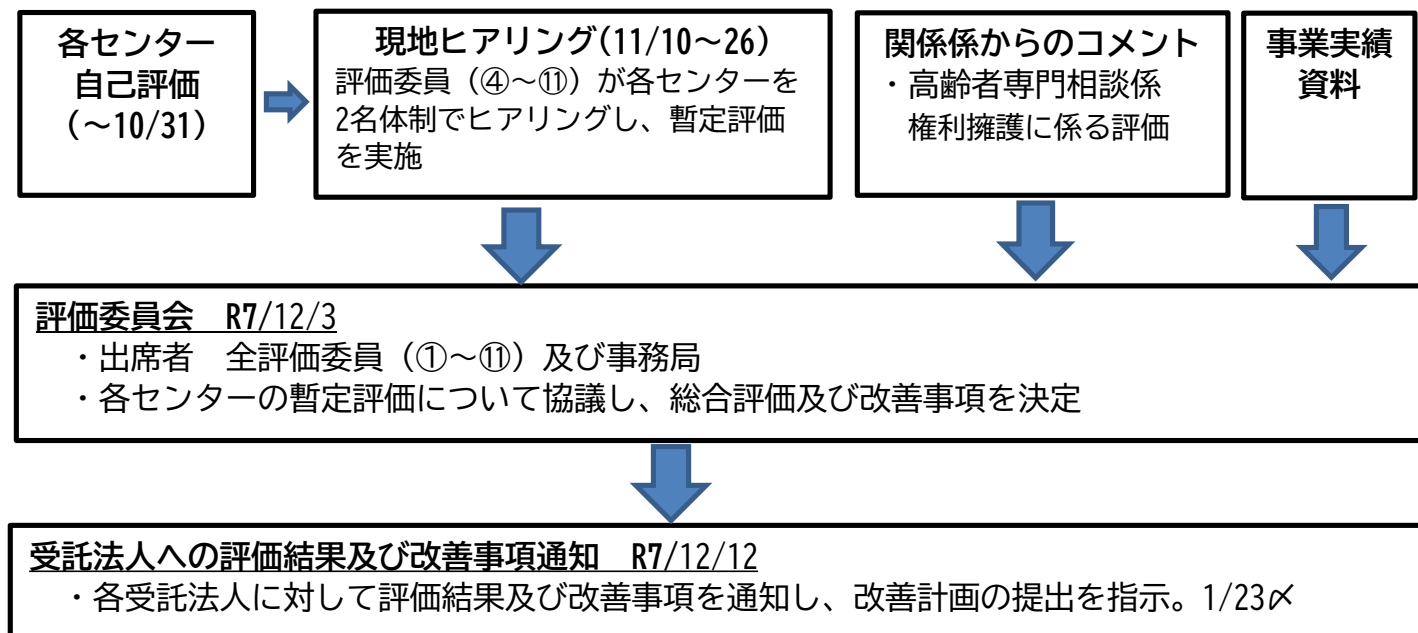
3 前年度からの変更点（令和7年5月29日開催運協にて協議済み）

- ・委員による評価時期を1か月前倒し（12月→11月）
- ・評価項目の追加（30項目→34項目）
- ・総合評定（優・良・可・不可）の判定基準の見直し

4 評価委員について 事務局 地域包括ケア推進課

- ①地域包括ケア推進担当部長（座長）
 - ②介護保険課長、③福祉推進課長
 - ④中部地区担当課長、⑤北部地区担当課長、⑥南部地区担当課長、⑦鷺宮地区担当課長
 - ⑧中部すこやか福祉センター所長、⑨北部すこやか福祉センター所長
 - ⑩南部すこやか福祉センター所長、⑪鷺宮すこやか福祉センター所長
- ※下線の8委員（④～⑪）が現地ヒアリングを実施

5 評価方法



6 今回の評価に関する考察

- ・今年度から評価基準を見直したことにより、全体の評価が底上げされた形となった。
令和6年度（良：7包括、不可：1包括）
令和7年度（優良：7包括、良：1包括）
- ・前年度から継続している取り組みについて、委員の評価が分かれることがあったため、令和8年度に向けて方針を整理する。

7 基幹型包括支援担当としての取り組み

- ・各包括における優れた取り組みは、他センターに共有する。
対象の取組みは「参考_優れた取り組み」のとおり。

各地域包括支援センターの優れた取り組み

| 区分 | 取り組み概要 | 包括 |
|---------------------|---|-------------|
| 広報活動 | LINEやInstagramによるPR活動を積極的に行った。区民等からの反応も良く、成果を挙げている。 | 南中野、東中野、中野北 |
| | 地域と連携しイベントに積極的に参加し、PR活動に尽力した。多国籍のイベント開催、孤独化防止イベントの開催、地区まつりでの絵本ブース開設など。 | 上鷲宮 |
| カスハラに対する体制整備 | ・弁護士への相談の仕組みを活用しており、必要時カスハラに関する相談もできる体制を取っている。(本町) ・対応マニュアルについてカスハラの実態・種類・場面別対応法・教育・メンタルフォローの仕方等多岐に渡る内容となっている。(中野北) | 本町、中野北 |
| 総合相談 | 社会資源が整理されており、情報量も豊富。ニーズのある配達ネットスーパーの情報も収集している。マップも作成しており、HPやSNSで閲覧可能としている。SCのモデルのような仕組み。 | 東中野 |
| | ・複合的な課題の検討に野中式を取り入れて関係機関と協議を行い、対象者を生保に繋げることができる等、成果をあげた。(南中野) ・包括主催会議に参加してもらえるよう、他団体主催の会議等にも積極的に出席し、働きかけている。幅広いネットワーク構築に繋がっている。(東中野) | 南中野、東中野 |
| 権利擁護 | ・権利擁護多職種勉強会を立ち上げ開催した。(南中野) ・民生委員向け、一般向けの権利擁護勉強会を新たな取り組みとして実施。(東中野) ・野方警察署に協力を依頼し、ケアマネ・サービス事業所・地域住民を対象とした、被害防止講座を今年度初めて実施。詐欺電話の事例紹介を劇を交えて行った。参加者から近隣住民へ講座後にチラシ配布が行われ、情報提供の広がりが見られた。(中野北) | 南中野、東中野、中野北 |
| 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 | ・昨年度から継続して、活発に他機関との意見交換の場を設けている。包括主催の事例検討会3回・勉強会7回・病院や薬局等を呼ぶ交流研修会・医療機関主催の意見交換/事例検討会へ出席。ランチミーティング11回・ひよこランチミーティング6回。(東中野) ・医師含む多職種事例検討会1回、事例検討会5回、ケアマネ交流研修会2回など、積極的に意見交換の場を設けている。(中野北) ・新たな企業(関東バス)を開拓し意見交換の場を設けたこと、及び病院のMSWとの懇談会の開催した。(江古田) | 東中野、中野北、江古田 |
| 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | ・予防支援に注力し、安易にヘルパーやデイサービスに頼りすぎている方へ根気よく説明している。4コマ漫画・紙芝居を作成。民生委員へは4コマ漫画を見せて理解を得るなど創意工夫がみられる。(東中野) ・UR住宅での介護予防推進のための相談会を開催するなど新たな取り組みを行った。(中野北) | 東中野、中野北 |
| | 委託先について、事業所から随時、空き状況や受付可否等を確認し、その内容を一覧表に反映して更新している。これにより、利用者へ複数の事業所を紹介できる仕組みを構築し、運用している。 | 中野 |
| 認知症高齢者支援 | オレンジラボでもの忘れ相談会を職員が自立して開催してる。 | 上鷲宮 |
| | 認知症サポーター養成講座について、オンライン開催や薬局・地域住民を対象という新たな取り組みを行った。オンライン開催時は全国の薬剤師が参加した。 | 東中野 |
| 生活支援体制整備 | 新たな取り組みとしてアウトリーチチームと共催で「東中野地域ケア会議」を立ち上げ、関係機関と協議しながら地域課題や地域ニーズ、不足する社会資源の抽出等を行い、新たな社会資源の創出に取り組んだ。 | 東中野 |